

1.コンセプト

彩りと仕掛けに満ちた、まち・川・海を繋げる公園

サブ理念：人々が憩い・遊び・集いを創造し、大船渡の“これから”を育む

震災の記憶を未来に受け継ぎ、四季の彩りを感じながら  
まちから海へと柔らかくつなげる空間  
人々が自然と集い安らぎと楽しさに満ちた公園



2.公園づくりの方針

(1) 人々が集い、交流を図るスペースのデザイン

- ・隣接する商業施設と連携したイベントやバーベキューなど、レクリエーション活動がしやすい配置とする。
- ・多様なイベント開催ができるよう固定した施設は設置しないよう配慮し、イベント活動の自由度を確保する。

(2) 公園利用者が休憩や子どもを見守ることができるスペースのデザイン

- ・散歩の際の休憩や子どもの遊びを見守ることができるよう四阿・ベンチ・緑陰を配置する。

(3) 四季の移り変わりが感じられ彩り楽しめる植栽のデザイン

- ・大船渡を感じられる市の花である椿を植える。
- ・花、新緑、紅葉、落葉、木の実などに配慮した植栽デザインを行う。
- ・緑陰となる樹木を芝生広場に植える。

(4) 大船渡のまちと海との繋がりが感じられるデザイン

- ・大船渡のまちから大船渡公園を経由し、海を展望できるみなと公園へとアクセスしやすい動線とエントランスを配置する。
- ・大船渡のまちから海へ向かう際に景観を運る高木は配置しない。

(5) 震災の記憶を後世に継承するための「遺構」のデザイン

- ・震災の出来事を忘れないよう震災遺構（一里塚の碑・茶茶丸パーク時計塔）を設置する。
- ・震災遺構は、公園利用に支障がない場所にひっそりと設置し、定期的に清掃を行う。



キャッセン・クリエイティブファーム (津波復興拠点8街区)

(仮称)大船渡公園



[参考]みなと公園

[参考] みなと公園配置図 (案)

- ・整備面積 約0.4ha
- ・防潮堤に築山を構築し、乗り越すことができる構造とする。
- ・メインエントランス (出入口) は須崎川沿い付近、サブエントランスは公園北側に配置する。
- ・築山頂上付近に展望広場を配置し、メインエントランスからは階段で、サブエントランスからは防潮堤に沿ったスロープで行けるように整備する。
- ・テラス広場は平場を確保し、レジャーや遊びができるスペースを整備する。



芝生広場のイメージ



桜並木のイメージ



遊具で遊ぶイメージ

(仮称)大船渡公園・みなと公園位置図



バーベキュー広場のイメージ



ライブイベントのイメージ



ヨガ等活動のイメージ



一里塚の碑



茶茶丸パーク時計塔



S=1:1000

